

## 疾風知勁草

(しっふう に けいそう を しる)

漢王朝は、紀元前 206 年から紀元 220 年までの約 400 年にわたる王朝です。  
14 代の孺子嬰 (じゅし えい：前漢最後の皇太子) は、王莽 (おうもう：新朝の皇帝) に負けたため  
前漢が滅びました。

しかし、16 代光武帝 (こうぶてい) が再興して後漢となりました。  
この光武帝の再興事業を支えた部下に王覇 (おうは) という武将がいました。  
光武帝が劉秀 (りゅうしょう) と名乗っていた頃、  
王覇は大将となった劉秀にお供して河北攻略に従軍しました。  
しかし、河北攻略で大敗したため、劉秀のもとからは部下達が次第に離脱しました。  
最後まで残ったのは王覇ひとりだけでした。

この時、劉秀は「私に従ってきた者は皆去っていき、今ではお前ひとりとなった。  
困難の中にこそ、その人間の本質というものが輝くのだ」と言いました。  
これが「疾風に勁草を知る」という言葉になったのです。  
「激しい風が吹いてこそ、初めて、勁草のような強い草が見分けられる」という意味です。  
私達も、困難な時こそ力を合わせて乗り越えて行くことが大切ですね。